

---

# 和歌山県における 遠隔集中治療・救急医療支援 -記者会見資料-



和歌山県立医科大学 救急・集中治療医学講座

井上 茂亮



## 2050年:日本

01

### 総人口

2020年の日本の総人口は1億2,615万人。予測では2050年までに1億人に減少する見込みです。この減少は20%以上です。

**20%減少**

02

### 生産年齢人口

2000年に8,622万人だった生産年齢人口が2050年には5,389万人に減少すると予測されます。医療従事者も不足します。

**40%減少**

## 2050年:和歌山県

01

### 総人口

2020年の和歌山県の人口約92.3万人が、2050年までに約63.2万人に減少する見込みです。これは約3割の減少を意味します。

**32%減少**

02

### 生産年齢人口

生産年齢人口（15～64歳）は、2020年から2050年にかけて大幅に減少します。これにより地域の労働力と医療現場の支えが薄れます。

**20%減少**

03

### 高齢者人口

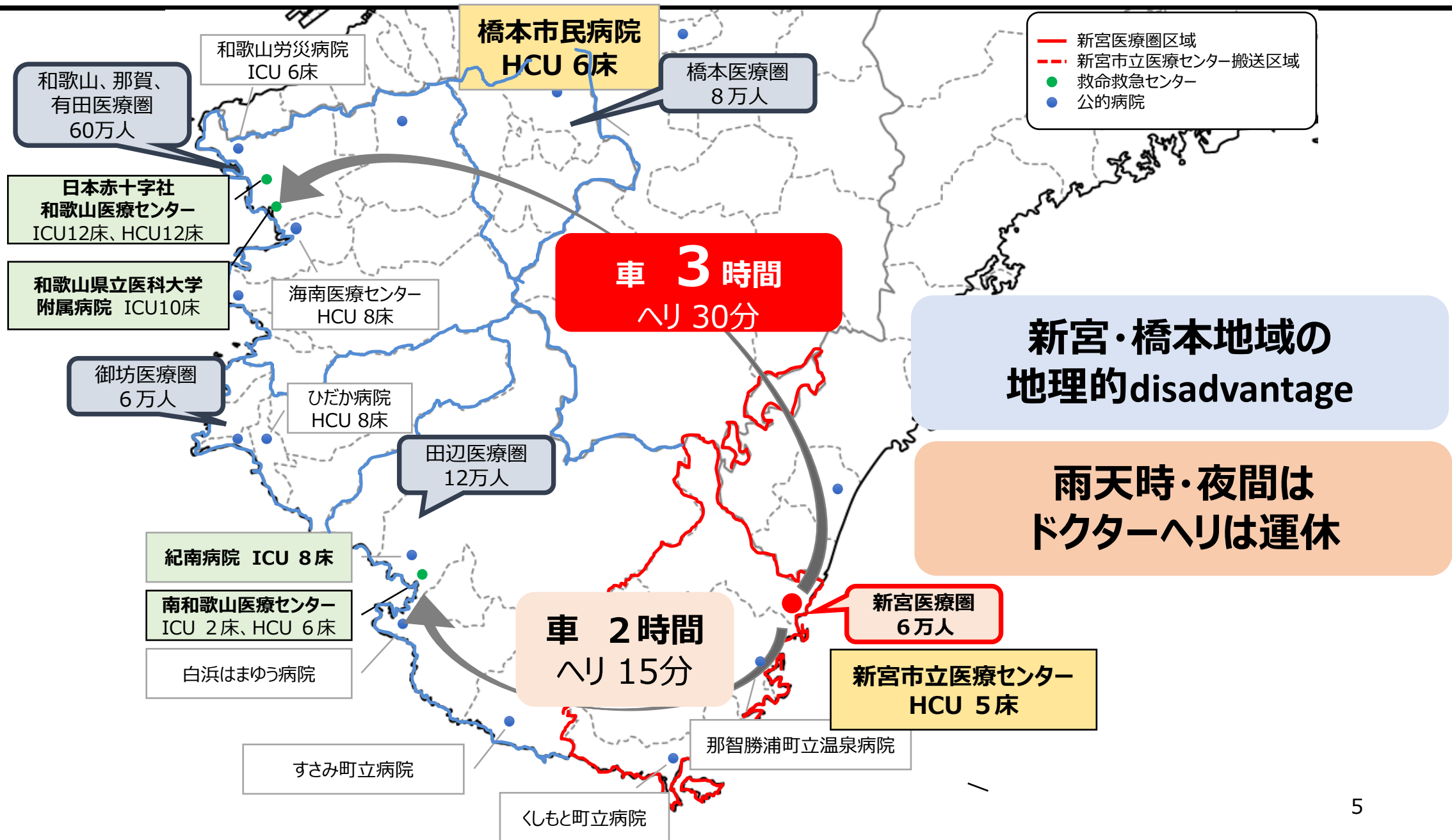
65歳以上の高齢者の総人口に占める割合は2025年の約35%から2050年には約39%に上昇する。

**4%増加**

# 和歌山県の80%が山間部



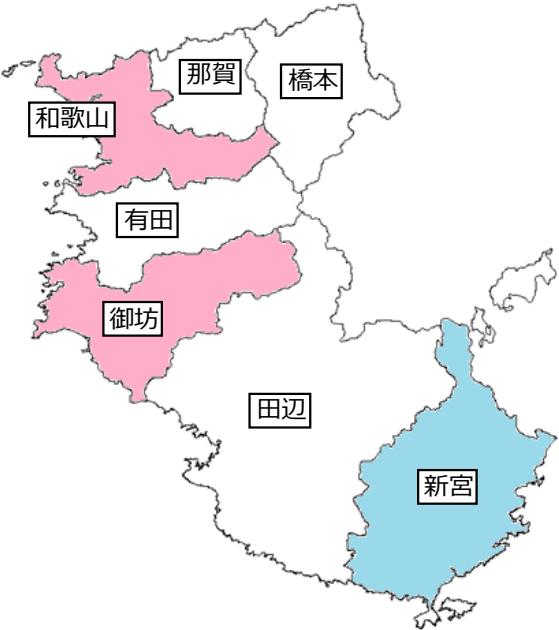
# 和歌山県内の救急集中治療の現状



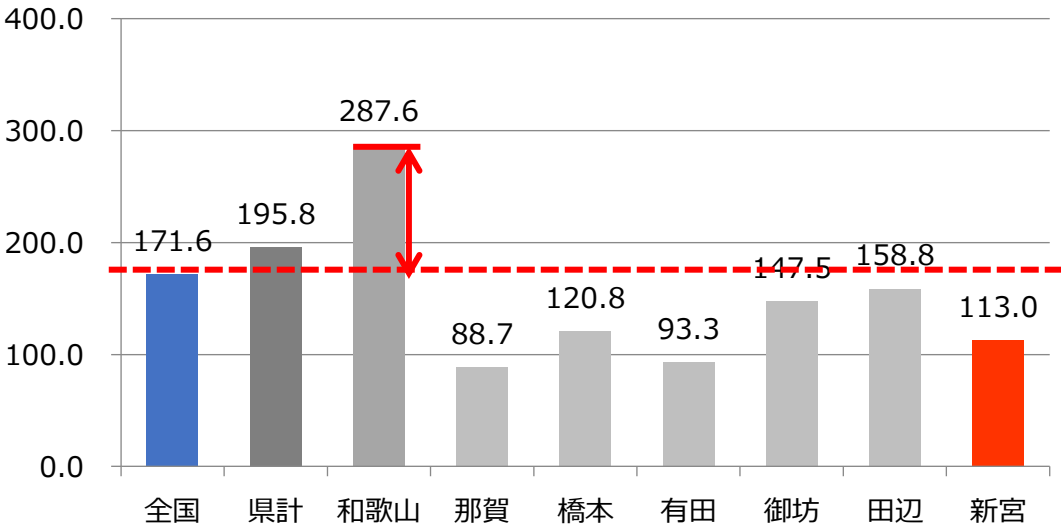
# 新宮地域は医師数が不足し、医師の高齢化も深刻

〔 本県及び県内二次医療圏 の医師少数区域・多数区域の区分 〕

医療圏名		医師偏在指標	全国順位	区分 ※
和歌山県		274.9	10	医師多数県
二次医療圏	和歌山	347.0	17	医師多数区域
	那賀	194.8	180	
	橋本	217.2	113	
	有田	180.8	218	
	御坊	243.9	79	医師多数区域
	田辺	216.5	115	
	新宮	162.2	264	医師少数区域

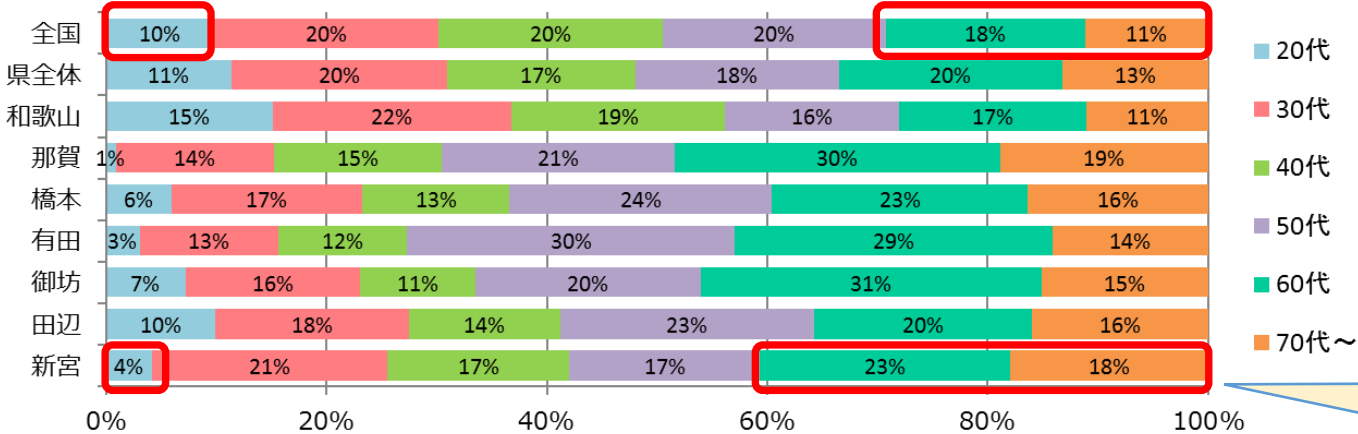


人口10万対医師数（病院のみ）



※ 全国330医療圏のうち、  
上位33.3%（112位以上）が医師多数区域  
下位33.3%（223位以下）が医師少数区域

■ 医師の年代別構成

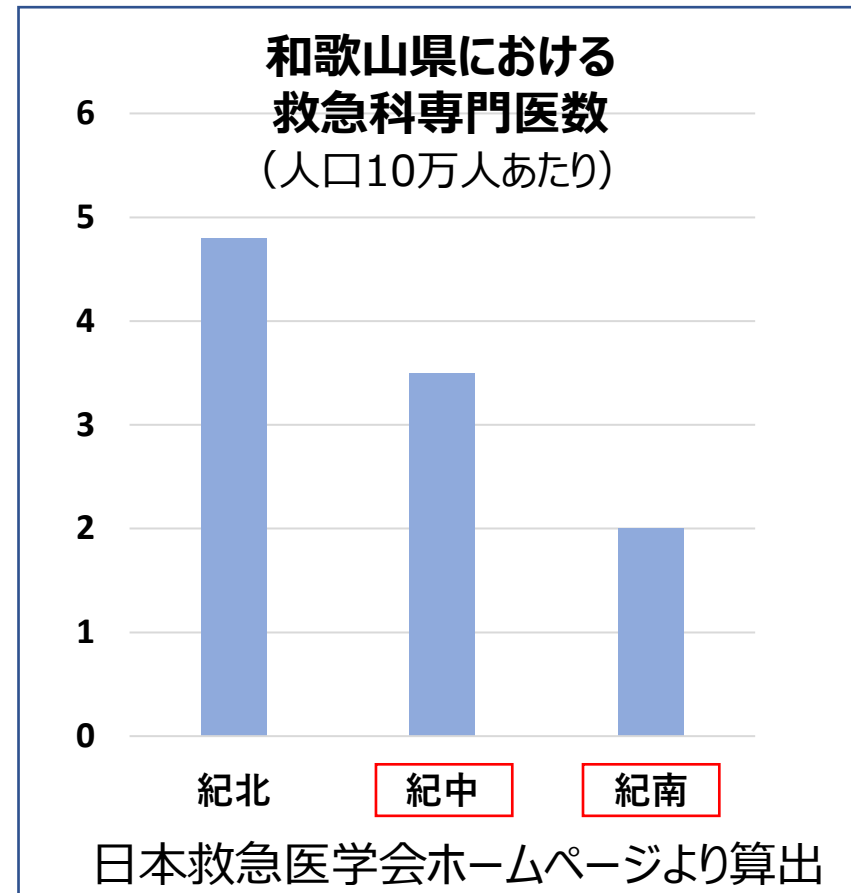
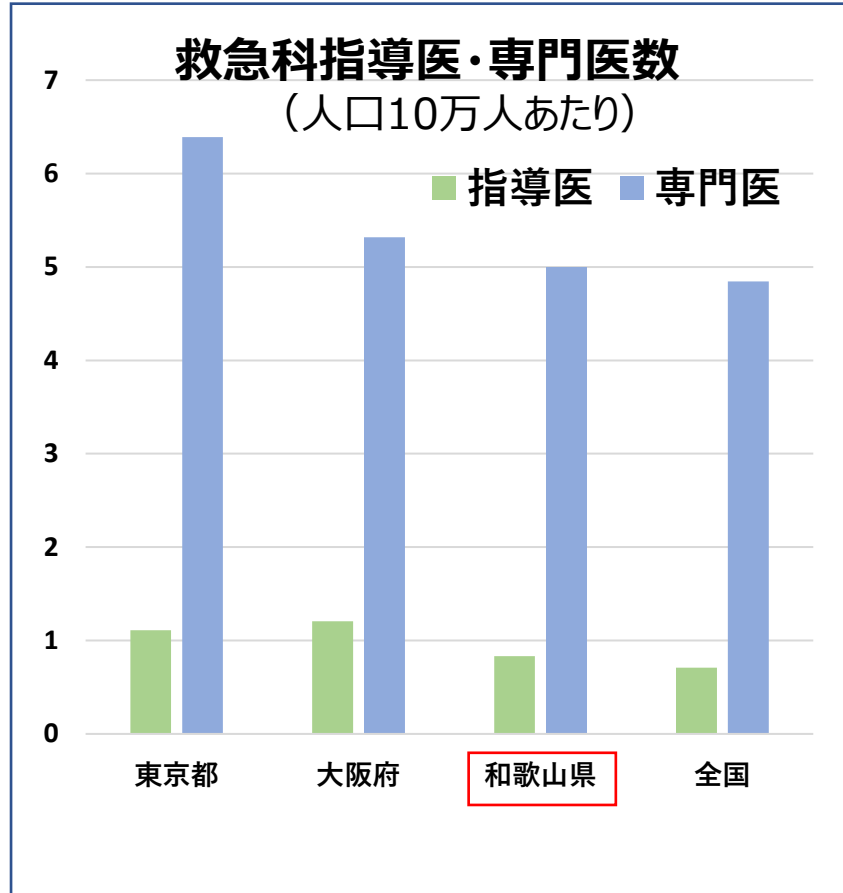


新宮地域の  
医師数は減少

新宮地域の  
医師は高齢化



# 和歌山県における救急医の現状



地域での救急医が不足

**地域における救急科専門医**の育成・供給が急務

# これからの救急・集中治療医療体制にむけて

## 遠隔ICUシステム



ドクターヘリ運休時間の救急医療を  
どのように支援するか



# 遠隔ICUシステム



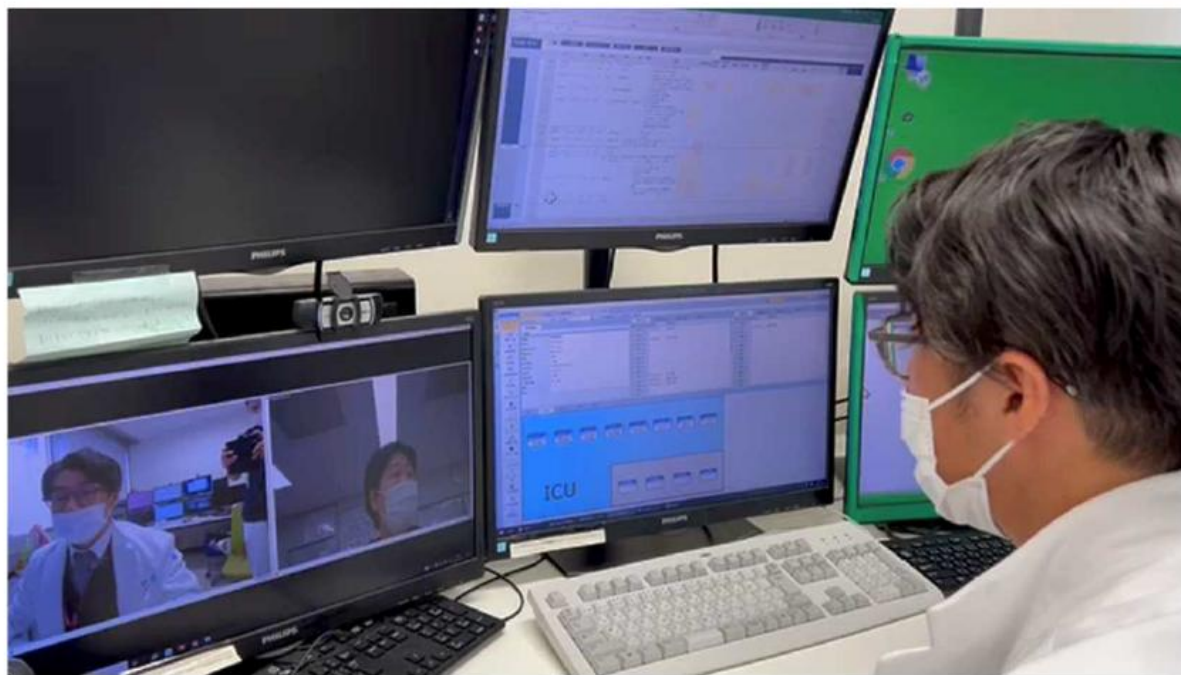
## 遠隔ICU：

医大と地域の中核病院（のICUやHCUをネットワークで接続

医大の専門医が24時間体制でモニタリングを行い、被支援施設の診療を人的支援。

→ **医療資源の不足への対応**や**医療の質の標準化**

# 支援センターと被支援施設間での定期的な情報共有



## 支援センター機能

集中治療の経験5年以上の医師で支援センターの体制を構築

- ◆ 被支援施設の看護師と定例で患者情報の共有を実施
- ◆ 顔の見える関係の構築
- ◆ 緊急時の相談のために患者情報の共有
- ◆ プロトコル・マニュアルの共有



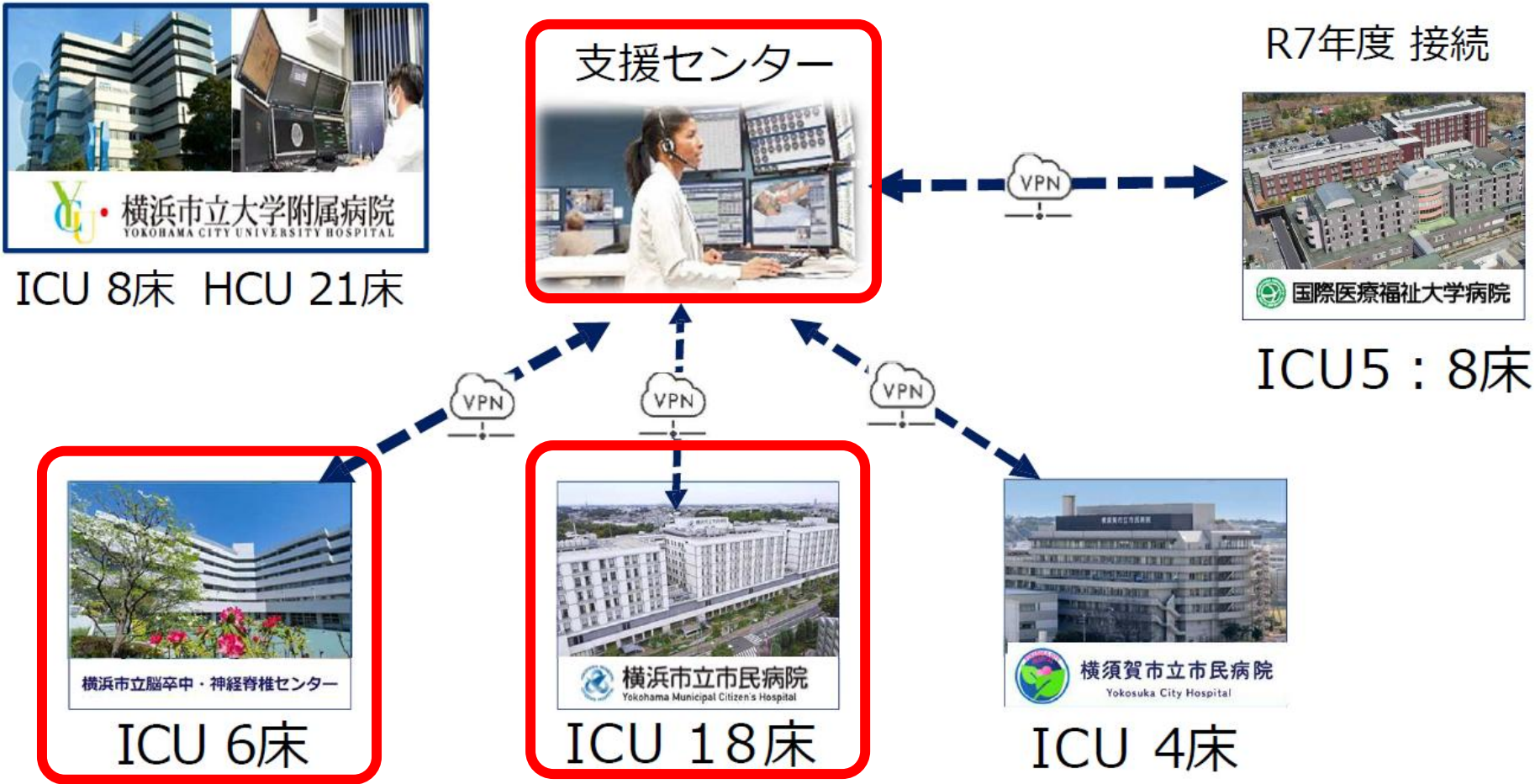
おはようございます。よろしくお願いします。

現地看護師との共同が必要であり、運用体制の整備が必要



# 2024年5月 遠隔集中治療の現場を視察（和歌山県庁職員とともに）

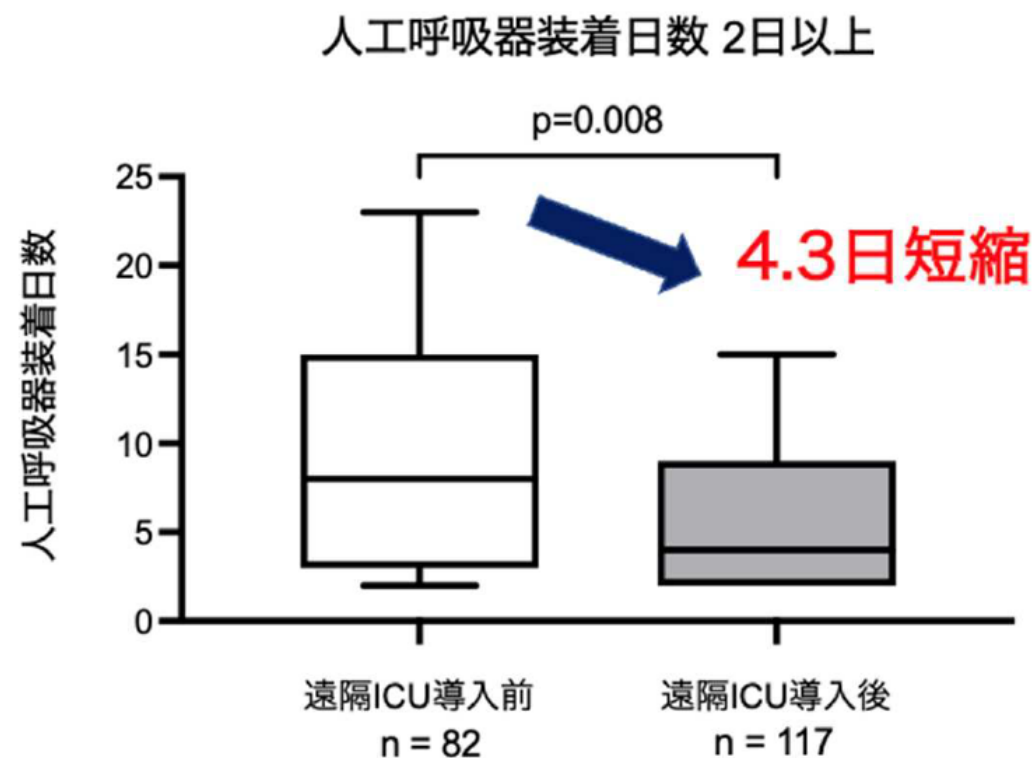
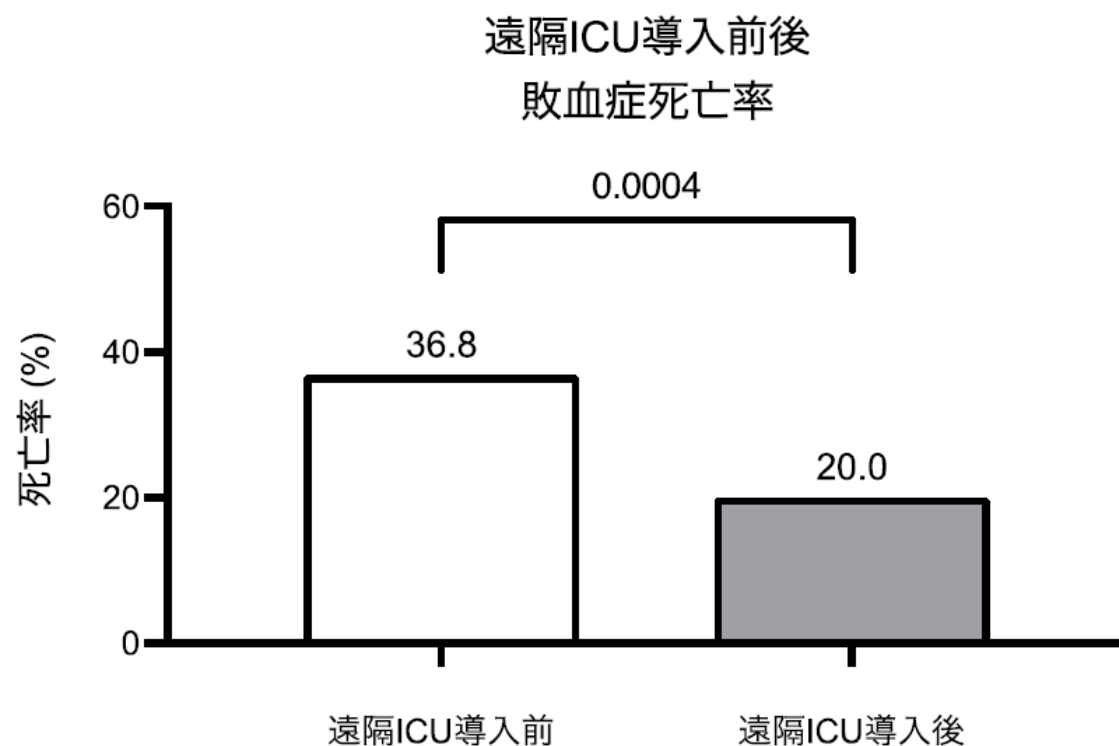
## 横浜市立大学グループ 遠隔集中治療



## 遠隔集中治療導入により医療の質も向上

横浜市立大学  
高木俊介先生よりスライド提供

- 遠隔集中治療導入により敗血症死亡率が36.8%から20%に減少した。
- 遠隔集中治療導入により3日間以上の人工呼吸装着2日以上の患者の人工呼吸装着日数が4.3日短縮した。(11.8日→7.5日)



# 新宮医療圏が抱える救急医療の課題



医療スタッフ不足  
医師少数地区



介護需要増加  
救急患者増加



救急専門医不在

遠隔診療で地域医師の負担を  
軽減できるかもしれない

# 県と大学で、地域医療を支える





# 地域病院の サイトビジット

新宮医療センター 4回  
橋本市民病院 3回



現場に足を運び、ニーズをさぐり、課題を共有する



# 地域病院の サイトビジット

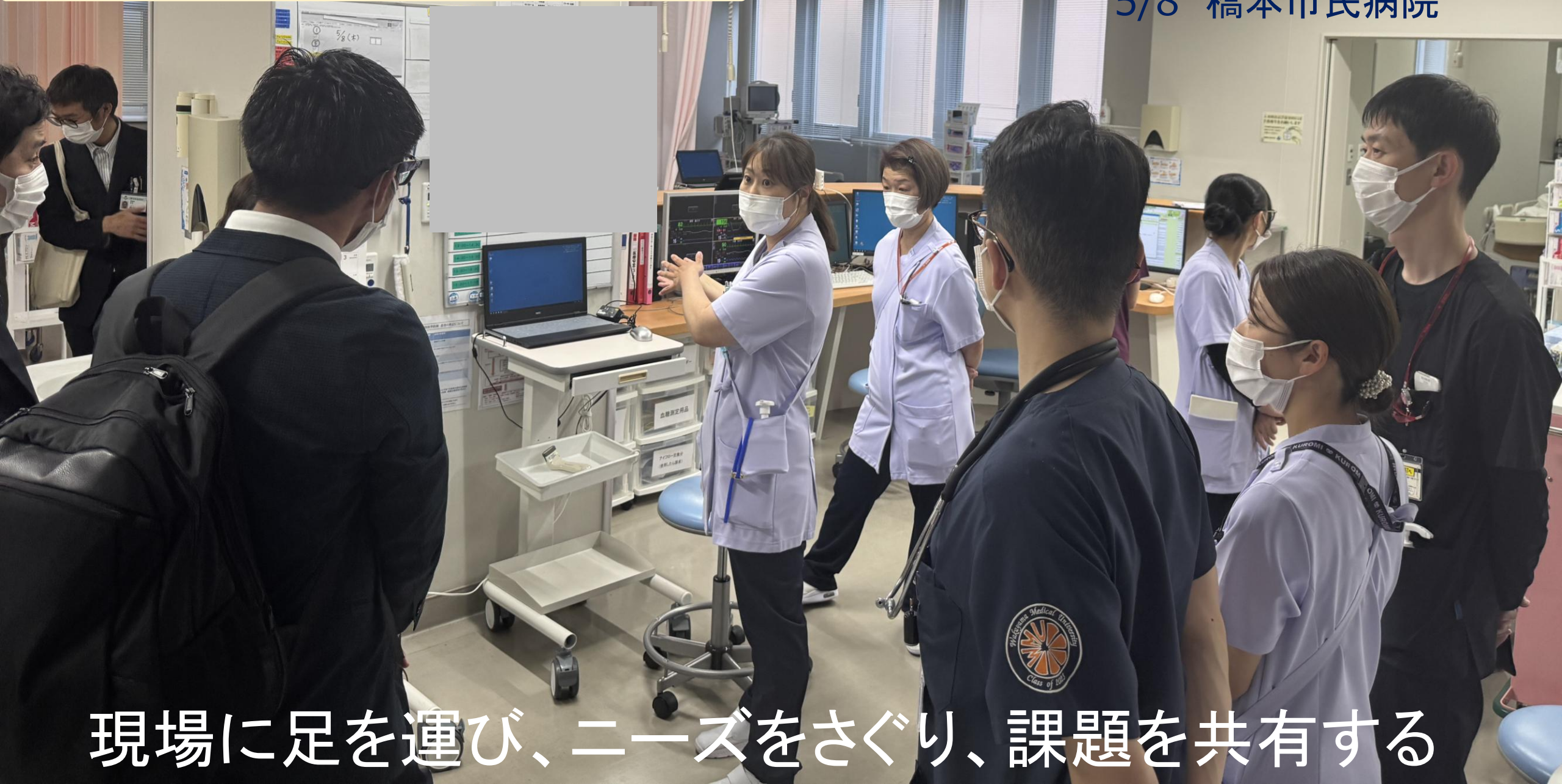
## 5/8 橋本市民病院





# 地域病院のサイトビジット

5/8 橋本市民病院



現場に足を運び、ニーズをさぐり、課題を共有する



橋本市民病院  
Hashimoto Municipal Hospital

参加費  
無料

申込み  
不要

# 市民公開講座

2025年 5月10日 土

13:00～15:00 (受付:12:30～)

会場：橋本市教育文化会館 2階大ホール  
(橋本市東家1丁目6-27)

## プログラム

### 2部 橋本医療圏からはじまる 救急医療の未来 -遠隔集中治療の挑戦-

講師 和歌山県立医科大学

いのうえ

しげあき

救急・集中治療医学講座 教授 **井上 茂亮**

#### プロフィール

東海大学や神戸大学にて、救命救急医学の分野で要職を歴任。2023年10月より和歌山県立医科大学救急・集中治療医学講座教授、同病院高度救命救急センター長に就任。救急医療の最前線で、次世代を担う人材を育成している。





# 地域の 理解と協力

## 新宮遠隔医療 シンポジウム (2025年2月)



# これからの救急医療体制を 維持するにはどうしたらいいの？

新宮・東牟婁地域には、救急の専門医がいません。

それでも、医療機関は急病の患者に対応するためお互いが協力し、質の高い医療を提供する必要があります。  
シンポジウムでは、医療従事者や行政機関、地域住民と一緒に、最新の救急医療の動きや技術、地域間での協力体制を学び、  
将来にわたって救急医療体制を維持する方法を考えましょう。

令和7年 **2月22日(土)** 10:00～13:00

【会 場】那智勝浦町立体育文化会館 大集会室  
(東牟婁郡那智勝浦町天満 441-8)

【定 員】200名程度 ご参加いただくには、事前のお申込みが必要です。

【申込締切】令和7年2月14日(金) 必着

参加費  
無 料

参加者にはノベルティグッズを  
プレゼント!!

### 基調講演①



全国の救急医療の  
現状とこれから地域に  
求められること

厚生労働省医政局地域医療計画課  
救急・周産期医療等対策室  
室長：近藤 祐史氏

### 基調講演②



限られた医療資源の  
効率的な配分のために  
-新潟県における  
遠隔集中治療支援のありかた-

新潟大学医学部  
救命救急医学講座  
教授：西山 慶氏

### 事例紹介



横浜市立病院での  
遠隔ICUについて

横浜市立大学附属病院  
集中治療部  
部長、准教授：高木 俊介氏

## 新宮医療圏における持続可能な 救急医療体制の構築に向けて

### 【コーディネーター】

和歌山県立医科大学 救急・集中治療医学講座  
教授：井上 茂亮氏

### 【パネリスト】

厚生労働省医政局地域医療計画課  
救急・周産期医療等対策室 室長：近藤 祐史氏  
和歌山県福祉保健部 技監：雑賀 博子氏  
新潟大学医学部 救命救急医学講座 教授：西山 慶氏  
南和歌山医療センター 救命救急科 医長：中島 強氏  
新宮市立医療センター 院長：北野 陽二氏  
那智勝浦町立温泉病院 リハビリテーション科 部長：坂野 元彦氏  
くしもと町立病院 病院長：阪本 繁氏

ご応募はこちらから！

📺📺📺 テレビ和歌山ホームページ内の「救急医療イベント」の



和歌山県立医科大学  
救急・集中治療医学講座  
教授：井上 茂亮氏



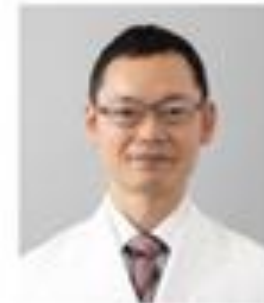
和歌山県福祉保健部  
技監：雑賀 博子氏



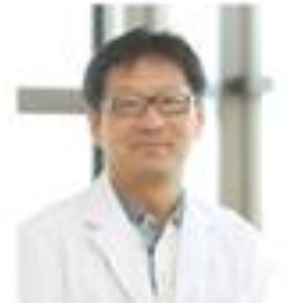
南和歌山医療センター  
救命救急科  
医長：中島 強氏



新宮市立医療センター  
院長：北野 陽二氏



那智勝浦町立温泉病院  
リハビリテーション科  
部長：坂野 元彦氏



くしもと町立病院  
病院長：阪本 繁氏

地域の3病院の院長



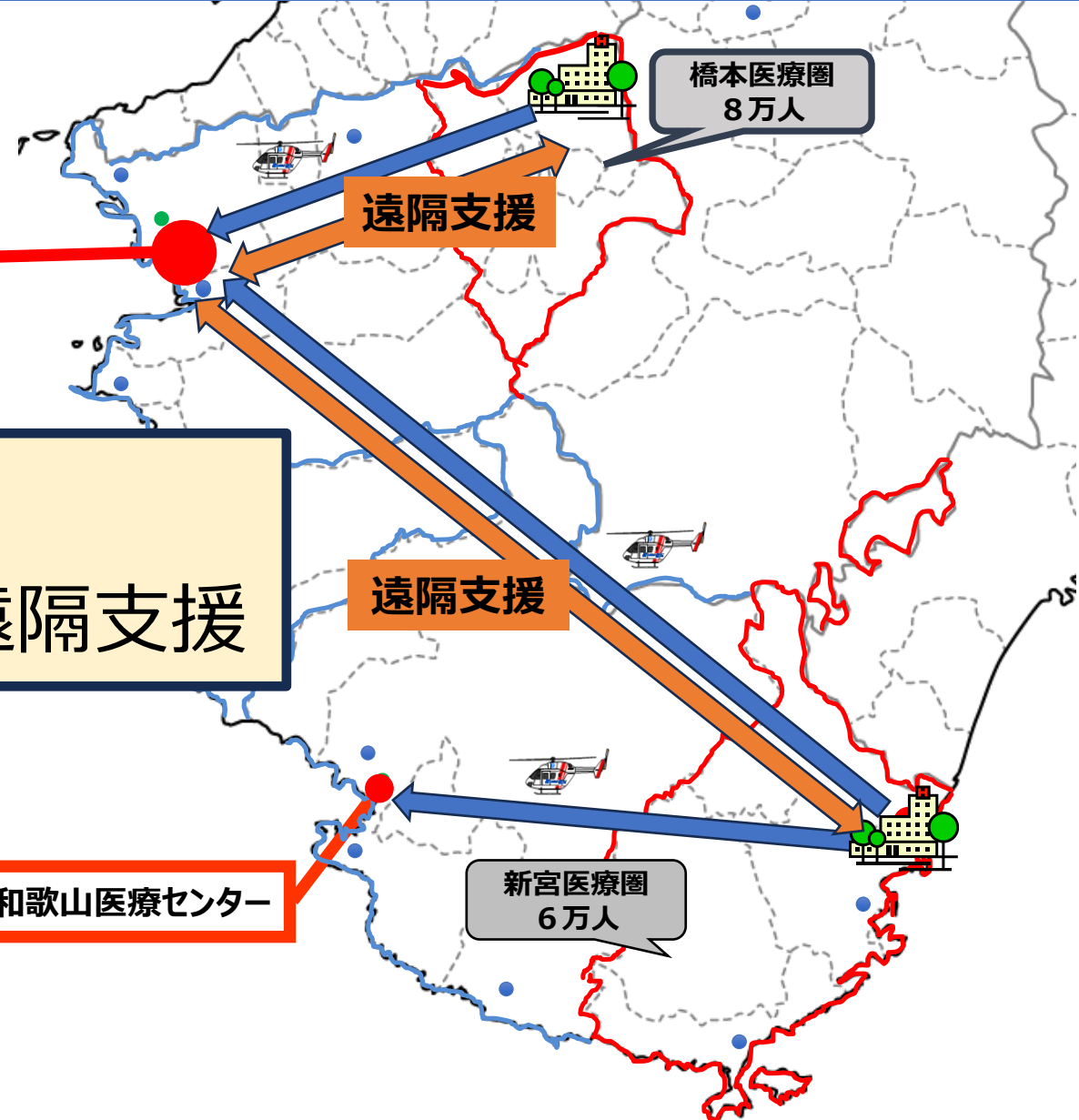
# 今後の和歌山県における救急医療のカたち

遠隔システムにより  
一つの医療圏として連携

和歌山県立医科大学  
附属病院

**日本発！**  
地域で複数医療機関への遠隔支援

南和歌山医療センター



# 支援予定病院の概要とニーズ

	橋本市民病院	新宮市立病院
病床数	300床	281床（76床休）
ICU,HCUの数	HCU6床	HCU5床
医療圏の規模	8万（14万）	6万（10万）
救急医の数	2名（整形1名）	0名
医師少数地域	医師少数スポット	医師少数地域
救急車応需率	85%	94%
支援を要する部門	HCU	ER、HCU
支援を要する時間帯	夜間、休日	夜間、休日

ICU相当の  
重症患者も

若手地域枠  
からの要望

## 支援予定病院の支援内容の実際

	橋本市民病院	新宮市立病院
対象部門	HCUのみ	ER、HCU
対象診療科	内科のみ	内科地域枠中心
導入された機器	iBSEN, Teladoc	Teladoc
持続モニタリング (iBSEN)	○2床のみ	×
電子カルテの共有	○	× 青洲リンク使用可
支援時間	(火)(木) 9:00-17:00	
支援内容	ID付与、オーダーまで	助言のみ
カルテ記載	可能	×

# iBSEN®



➤ 生体モニター、カメラ  
呼吸器グラフィックなど  
持続モニタリング

➤ 重症度の計算(EWSなど)  
急変予測など



# Teladoc Health<sup>®</sup>

## ➤可動式高性能カメラ

- 遠隔操作可能、高セキュリティ
- 複数人同時に接続
- エコーなど接続可能

## ➤僻地医療、感染症診療、手術支援など



**ER、HCUに配備**

WEMEX HPより

和歌山県立医科大学  
中島強先生よりスライド提供

## 遠隔ICU導入スケジュール

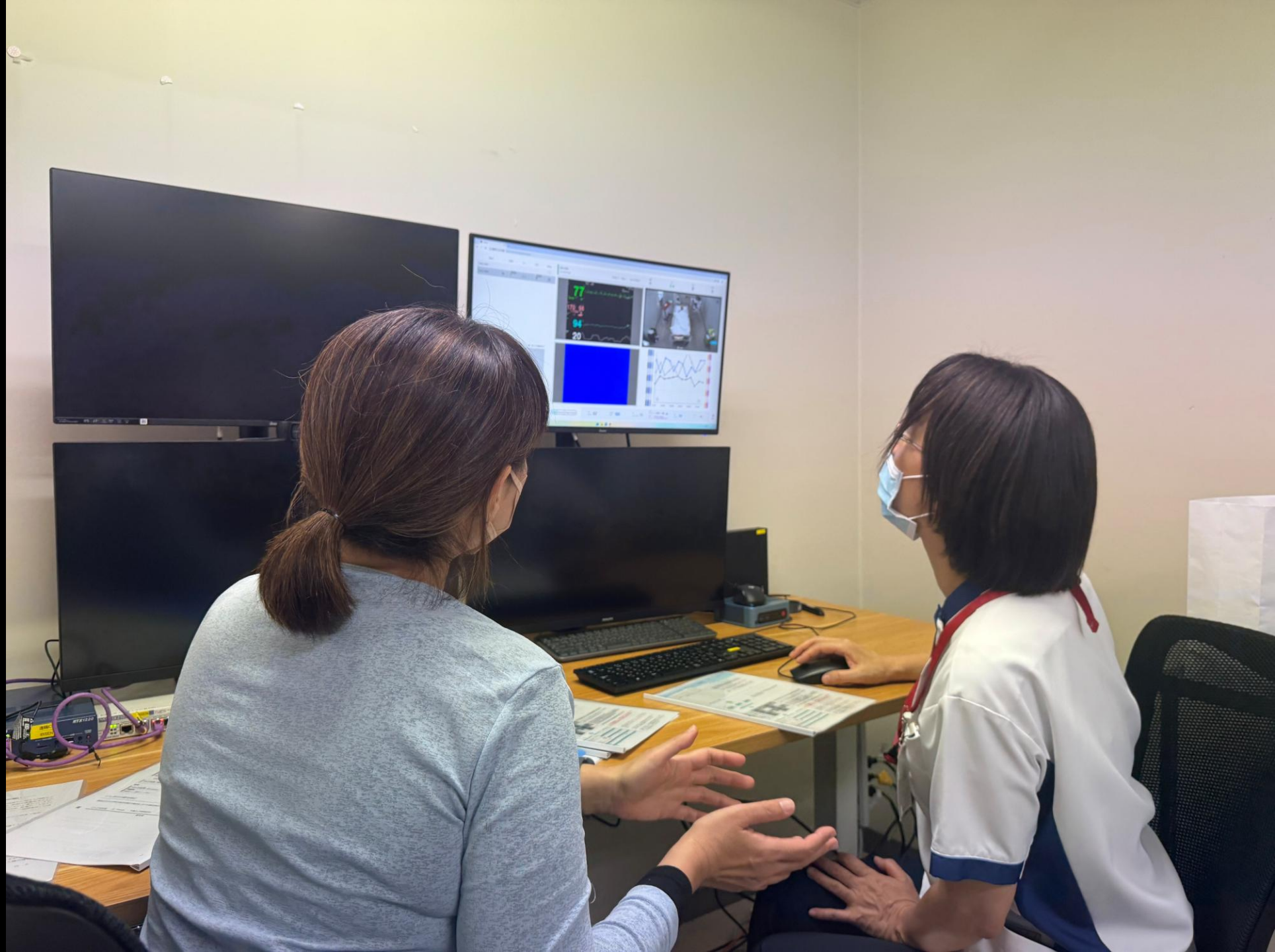
	令和 7 年									令和 8 年	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
補助金 (全体)	事業 計画		内示				交付 申請  交付決定 前着手届			交付 決定	
医大				仕様書の精査 (事業者現地調査含む)		新宮 橋本 打合せ	発注 事務	設置 ・導入	納品 テスト	支援開始	
新宮	※ Teladoc院内デモ は 3 月に実施			仕様書の精査 (事業者現地調査含む)		医大 打合せ	発注 事務	設置 ・導入	納品 テスト	被支援開始	
橋本		iBSEN 院内デ モ 第 1 回	iBSEN 院内デ モ 第 2 回	仕様書の精査 (事業者現地調査含む)		医大 打合せ	発注 事務	設置 ・導入	納品 テスト	被支援開始	



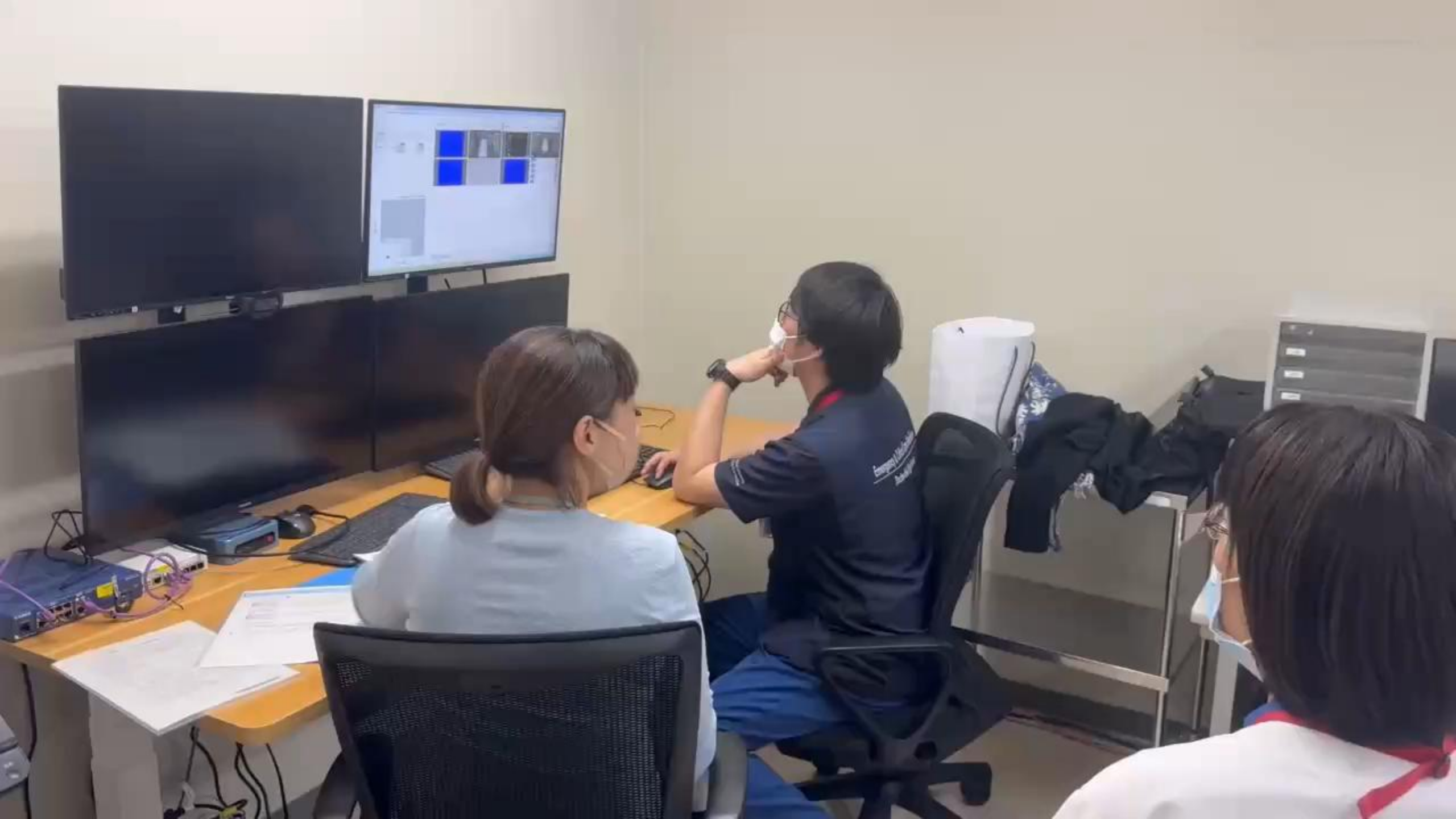












## 導入時の具体的な支援内容

### ● 医大支援スタッフ

医師：1人

看護師：1人

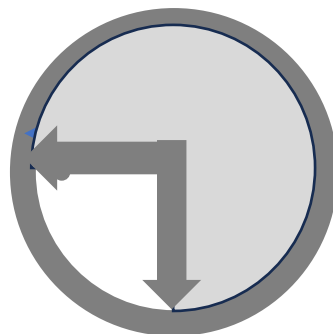
（まずは専属NsまたはICUNs）



### ● 支援時間

曜日：週に2回（火、木）

時間：日勤帯



### ● 支援内容



定例カンファ



コンサルト対応

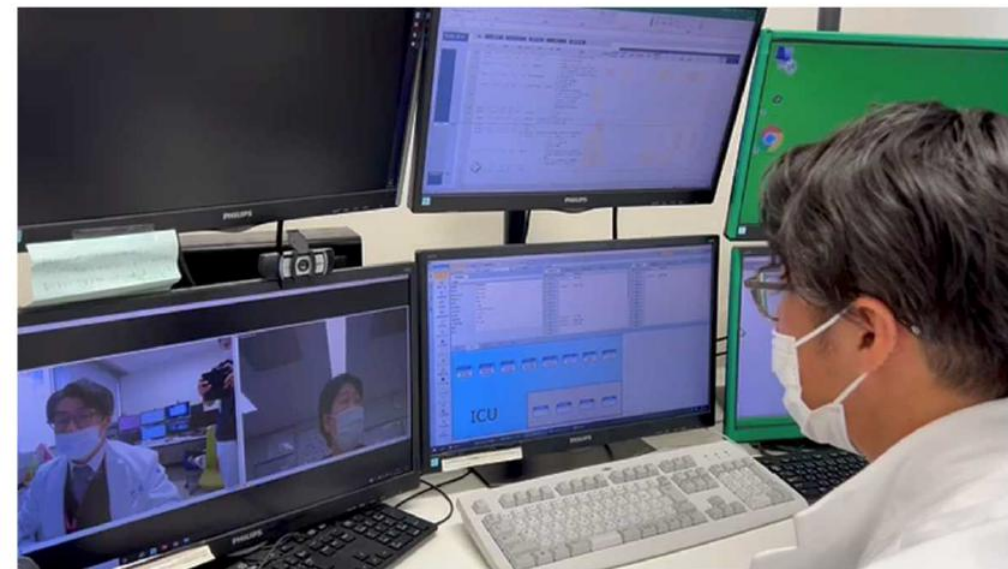
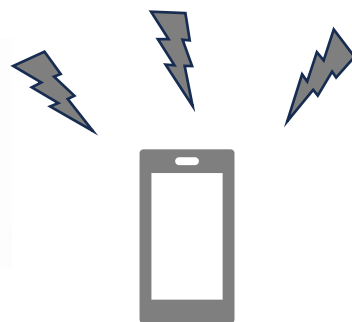
システム構築後、診療科、時間を広げる

## 具体的な動き

### ① IP電話に依頼

普段は通常業務

窓口は医師か看護師は相談中



### ② 支援センターでカルテ共有

橋本市民はカルテ共有

オンラインで患者状況の共有

Teladocでさらに詳細に

### ③ 介入の有無を含め助言





# 定例カンファレンス(橋本市民病院)

**9:00**

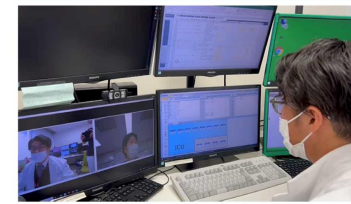
## 顔合わせ、カンファレンス

看護師の申し送りの流れで開始

- 橋本市民病院：Teladoc®電源ONで待機
- 和歌山医大：9時に接続

**10分以内**

**まずは情報共有のみ**



### ＜稼働後の課題＞

- カンファの簡易テンプレ作成
- 日中の定型的なチェックリスト作成
- 夕のカンファの必要性 など

# コンサルフロー（時間内）

## コンサル対象患者発生

必要時主治医に確認



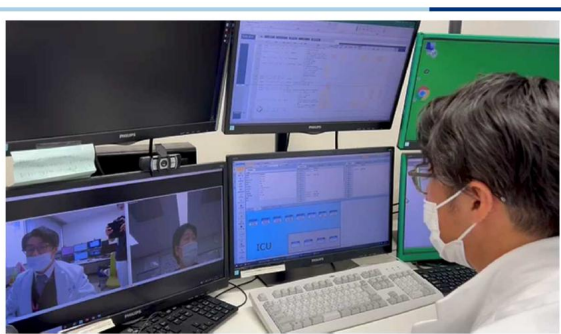
## ビデオ通話(iphone: Face Time)で依頼

繋がらない場合073-441-0916

コンサル内容を簡単に情報提供

## 医大支援センターと患者情報の共有

iBSEN<sup>®</sup>、Teladoc<sup>®</sup>、JOIN<sup>®</sup>により共有



## 介入の有無を含め協議

助言からオーダーまで

フォローが必要かの判断



和歌山県立医科大学  
中島強先生よりスライド提供

# 今後の流れ


- 1月20日      橋本市民病院と遠隔救急支援開始  
                 新宮医療センター
- 1月29日      会見、デモンストレーション

## 大枠だけ決めて、稼働後に調整


- ✓ ID付与、オーダー開始
- ✓ 実績を重ねて、**時間**を延ばせるか
- ✓ 被支援施設に**診療科**を増やす
- ✓ 支援施設の**診療科**を増やす

# 和歌山県立医科大学 高度救命救急センター Instagram

視聴回数 **1.3万人**




ノート...

**eccmwakayama1984** 

和歌山県立医科大学高度救命救急センター

投稿324件 フォロワー1.1万人 フォロー中85人

和歌山県立医大医科大学高度救命救急センターでは、自由度の高い研修プログラムを提供し、広く専攻医・スタッフを募集しています。... 続きを読む

[www.wakayama-med.ac.jp/med/eccm](http://www.wakayama-med.ac.jp/med/eccm)  eccmwakayama1984



# 遠隔システムを介して、重症患者を医大に転送（2026.1.21）



コンサルト対象患者発生

➤70代 女性

➤尿路感染症→敗血症性ショック

医大ER担当スタッフに依頼

コンサルト内容を簡単に情報提供

Teladoc® で  
患者情報の共有

すぐに救急車で医大へ転院



ご清聴ありがとうございました！



命と

未来を

救う

和歌山県立医科大学高度救命救急センター